

## 横浜はじめて物語 — ラブリー横浜散策 —

講師 = 嶋田昌子 シマダマサコ (横浜ボランティアガイド協議会会長)  
 時間 = 10:30 ~ 12:00  
 受講定員 = 30人  
 受講料 = 7,500円

教材 : 年表 ¥200 (税込)  
 [希望者のみ第1回受付で販売します。]  
 ご持参いただくもの : 筆記用具、年表 (前回までに本講座で購入された方は、ご持参ください。)

### スケジュール

- ① 11月 5日 (木) 横浜の開港
- ② 11月12日 (木) 居留地の食事
- ③ 11月19日 (木) フィールドワーク I 神奈川
- ④ 11月26日 (木) 花が彩る洋館
- ⑤ 12月 3日 (木) フィールドワーク II 山手
- 12月10日 (木) 予備日

※第3回と第5回のフィールドワークは、現地集合・現地解散(所要時間2時間30分程度)となります。詳しくは講座の中でご説明します。

※予備日は、フィールドワークが天候により催行できなかった場合の振替日です。

### 講座内容

ペリー来航から150余年、「日米和親条約」がこの横浜の地で結ばれて以来、横浜は歴史の表舞台に登場することになった。開港場となった横浜の町には異国の人が行き来し、海外から渡来した珍しい物産が売り買いされ、緊張と感動の生活がそこにはあった。何も彼もはじめてのことばかりだった。軽々と封建時代を乗り越えた人々がそこにはいた。こうして現在の横浜の町が形成されていった。

当時の内外の人々の事跡を当事者の文章でたどり、今に残る浮世絵や写真を映像で味わいながら、開港150年の節目にあたる今年に相応しい講義を行いたい。フィールドワークでは講座に登場した現地を歩いて、150年前の横浜を実感してみよう。

#### 講師プロフィール

横浜市出身。日本女子大学助手、市教育委員会社会教育指導員などを務め、学習講座の企画運営、CATVの番組制作など地域活動に従事。92年横浜シティガイド協会を創設、以後15年に亘り会長を務め、現在、横浜ボランティアガイド協議会会長。『よこはまを生きる女たち』『横浜開化錦絵を読む』(いずれも共著)など著書多数。